

青山の国語

配点 大問1 10点 大問2 10点 大問3 20点 大問4 34点 大問5 26点

2024年度試験問題

目標点 55点

設問ごと分析

出題内容		難易度	配点	出題内容		難易度	配点
大問1	漢字の読み			大問4	論説文		
(1)	枯渴	A	2	問1	内容把握	B	4
(2)	麓	A	2	問2	内容把握	A	4
(3)	店舗	A	2	問3	内容把握	B	4
(4)	丘陵	A	2	問4	内容把握(書き抜き)	B	6
(5)	喫緊	B	2	問5	内容把握	B	4
大問2	漢字の書き			問6	200字作文	C	12
(1)	ブショウ	A	2				
(2)	コウバイ	B	2	大問5	現古融合文		
(3)	アんで	A	2	問1	語彙	A	4
(4)	クニク	A	2	問2	内容把握	B	4
(5)	カセイ	A	2	問3	内容把握	A	4
大問3	小説文			問4	内容把握	A	4
問1	内容把握	B	4	問5	内容把握(2つ)	C	10
問2	心情把握	B	4				
問3	心情把握	A	4				
問4	内容把握	A	4				
問5	心情把握	B	4				

問題分析

- 1 漢字の読み 2 漢字の書き→自校作成校の中では一番しい
3 小説文 4 論説文 5 現古融合文

講評

- 難易度は昨年とほぼ同じ。
大問4 2022年・2023年に続き、2つの文章を複合的に読み解く問題が出題
1,2 書き 日常生活の中で目にする語句が多く、標準的な難易度
読み 標準レベルの語句が中心
3 竹内真『図書館のビーナッツ』
例年通り設問は心情把握に関する問題がほとんど。
場面ごとの心情を読み進めていくことも容易なので、なるべく手早く解き進め、
大問4以降に時間を残すことがポイント
4 上村博『身体と芸術』、小林太市郎『藝術の理解のために』
抽象度が高く、読み取りには相応の時間がかかる
作文・記述 本文や生徒Aから生徒Eの会話を踏まえて、「芸術の理解」
ということあなたはどう考えるか。具体的な自分の体験をもとにして
あなたの考えを200字以内で書け。
5 野内良三『無常と偶然』
抜き出し問題が、2023年:2題から2024年:5題に増加。時間配分に
注意が必要。

青山の数学

配点 大問1 25点 大問2 25点 大問3 25点 大問4 25点

2024年度試験問題

目標点 65点

設問ごと分析

出題内容		難易度	配点	出題内容		難易度	配点
大問1	小問集			大問3	平面図形		
問1	因数分解を利用する計算	A	5	問1	角の大きさ	A	7
問2	一次方程式	A	5	問2	図形の面積	B	8
問3	確率	A	5	問3	角が等しいことの証明	C	10
問4	仮平均	A	5				
問5	作図	B	5	大問4	空間図形		
大問2	関数			問1	線分の長さ	A	7
問1	三角形の面積	A	7	問2(1)	合同の証明(選択式)	B	3
問2	点の座標(記述)	A	10	問2(2)	線分の長さ(記述)	C	7
問3	三角形の面積	B	8	問3	五角形の面積	C	8

問題分析

- 1 小問集+作図 2 関数 二次関数
3 平面図形 4 空間図形 (会話文形式→慣れること)

講評

- 例年捨てる問題がほとんどない、高得点(70点弱)勝負。
難易度の差が大きいので難易度ABの問題を確実に取ること。
1 例年通り小問5題の出題。難易度の差が大きい青山の数学
では、この小問は全問得点したい。
2 典型問題が多く、大問1同様、確実に得点したい。
3 平面図形。問3は等しい角を選び、それを証明する問題だが、
方針が立ちにくく難問。
4 空間図形。生徒と先生の会話文で問題が構成されている。
問3の五角形の面積は難問。

青山の英語

配点 大問1 20点 大問2 32点 大問3 48点

2024年度試験問題

目標点 70点

設問ごと分析

出題内容		難易度	配点	出題内容		難易度	配点
大問1	リスニング			大問3	説明文読解		
問題A	対話文1 内容一致	A	4	問1	適文補充	A	4
	対話文2 内容一致	A	4	問2	内容把握	B	4
	対話文3 内容一致	A	4	問3	語順整序	B	4
問題B	Q1 内容一致	A	4	問4	内容把握	A	4
	Q2 内容一致記述	B	4	問5	適語句補充	A	4
大問2	対話文読解			問6	内容把握	A	4
問1	適文補充(4か所)	A	8	問7(1)	内容一致	B	4
問2	内容把握	A	4	問7(2)	内容一致	B	4
問3	適文補充	A	4	問7(3)	内容一致	B	4
問4	内容把握	A	4	問8	内容一致	C	4
問5	内容一致(2つ)	B	4	問9	条件付英作文	C	8
問6	内容把握	A	4				
問7	内容一致	B	4				

問題分析

- 1 リスニング 2 対話文
3 説明文 長文の語数 約2300語

講評

- 難易度はほぼ前年並み。自校作成校の中では解きやすい問題が多い。
図やグラフの特徴を捉え、英文の中から情報整理、分析する力が求められている。
1 BのQ2の正答率が低い。単語スペルミスや冠詞の付け忘れなどに注意。
2 ヘルシンキやトラム(路面電車)の歴史・役割について
出題形式もほぼ例年通り。文章全体の細かい理解が試されている
3 説明文 農業と食料問題について
やや抽象的なテーマに対して対応策を引き出し、英語で表現することが求められる。
問9の自由英作文は「問題を解決しやすくするために日常生活で私たちが
できること」について50語以内で書くもの。

※網掛けが濃い設問は記述の設問です。

2024目標点 英数国190+理社165=355
目標内申 61/65

難易度の標記 A: 易しい(全問正解したい) 目安→正答率80%以上
B: 標準(落とせない) 目安→正答率79~60%
C: やや難問(合否を分ける問題) 目安→正答率59~40%
D: 難問(1問でも出来れば良し) 目安→正答率39~11%
E: 超難問(できなくても気にしない) 目安→正答率10%以下